

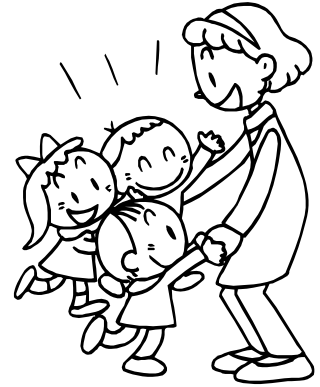


2021.1.20

ひなご幼稚園園長 神戸洋美

人を動かす

私は週に一度、朝6時～7時までの1時間、主に会社経営をされている方々との勉強会に参加しております。幼稚園は教育現場ですが、私立幼稚園は保育料で経営が成り立っており、無償化となっても園児数で全体の額が左右され、園児数が減少すれば職員の給料が払えるのか、という切実な問題となってきます。経営も教育も同時に考えなければならないのです。経営者の勉強会ですが、実は人間としてどうあるべきか、という生き方を学ぶ会なのです。



先日の講師から伺った内容は、正に教育の基本につながる内容でした。あるホテルのウェイトレスさんの話で、お客様からどなられた彼女は、「自分の説明が悪かったから」と素直に受け止めたというのです。クレームを言われるお客様は有難いもの、ホテルの対応に問題はなかったか反省し、お客様に喜んでもらえるにはどうするかを考えることが、発展していくホテル経営に結びつけることが出来るのです、とのお話でした。幼稚園経営にも共通するものがあります。

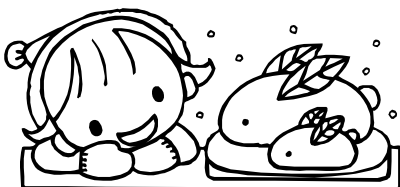
更にこのような事件が起こった時に、失敗をとがめるのではなくフォローする体制が会社やトップにあるか、そこが重要と教えて頂きました。言葉だけでは人は動かない、「北風と太陽」というイソップ童話にあるように、心が温かくなると人は動く、そういう心を社員にもっていますか、と指摘されました。人は常に「自己の重要化（自分が重要と思ってもらえること）」を考え、「他人に認められたい」と渴望しているのです。それは子どもも大人も同じです。

さて、家庭の中を振り返ってください、と講師の話は続きます。日常生活が当たり前のように何気なく過ぎていくのは、みんなが使いやすいように奥様（参加者に男性が多いため）が努力しているからです。

「認められたい」という奥様の渴望に応えていますか？と聞かれました。もっと家族や周りの人たちに感謝の気持ちを言葉に出して言いましょ。人は何かの、誰かの役に立ちたいと思っています。認められ、心が温かくなれば人は動き出すものです。

もう一つ、事例を紹介されました。海外でのお話です。学校の先生が実験用のネズミを逃がしてしまいました。そこである少年に探すことを頼んだのです。その少年は目が不自由でしたが、そのお蔭で鋭い聴覚を持っていたからです。その少年は自分の持っている能力を先生が認めてくれたことで自信につながり、その能力を活かし、やがて偉大な歌手になりました。その人はスティービー・ワンダーだそうです。

心からの賞賛は人の人生を変えるのです。「あなたのお蔭です」と人に伝えてありますか？自分は言われたいと思っているのに、人に対してちゃんと言っていますか。その人の長所や進化を認めようと努めること。子どもにとって親に認めてもらえることが大きな喜びです。周りの人全てに、賛辞を振りまくことが出来る人になりましょ、と教えて頂きました。耳に痛く、心に響くお話でした。



緊急事態宣言

昨年の宣言が出されてから、もうすぐ1年を迎えようとしています。このめばえでもコロナのことばかり書くのは、もううんざり、と思いましたが、19日の新聞を読んで「負けない」という気力を持ち、正しく恐れ、しっかりと向き合うことが大切と感じました。記事の見出しは「誰も

が死ぬ病気ではない。感染力はものすごく強い」でした。コロナの正体もだいぶ分かってきています。死亡率は今の時点で1.4%、昨年5月～7月に5%を超えていたのに比べるとかなり改善され、治療法はだいたい確立してきました。しかし「コロナはただの風邪」という意見は誤りです。風邪でこれほどの重症者が出るはずはなく、感染力がものすごく強いのです。高齢者は重症化しやすいし、若年層も回復しても後遺症が残るとのことです。インフルエンザの10～100倍の致死率の疾患が、インフルエンザ並みに広がっていると理解してほしいと記事にありました。引き続き感染予防対策を続けていきましょう。